

第 11 回日中韓三国保健大臣会合共同声明（概要・仮訳）

1 感染症に対する備えと対応

- 感染症への備え、情報共有、脅威の監視、危機発生時の対応を強化。周辺地域での公衆衛生危機管理のために今後も緊密に連携。

2 健康な高齢化と非感染性疾患（NCDs）

- 健康な高齢化を実現するために、高齢者のフレイルの予防や対策を強化し、お互いの取組を共有。
- 非感染性疾患の予防、早期治療を推進するため、共同研究（日中韓高齢化セミナー、日中韓 NCDs シンポジウム等）を活性化。

3 ユニバーサル・ヘルス・カバレッジ（UHC）と災害時の健康リスク・マネジメント

- 人口構造や経済状況の変化の中で、UHC を維持していくことが重要。
- アジア隣国における UHC 推進のための国際協力を強化。2019 年の国連 UHC ハイレベル会合に向けた政治的なモメンタムの強化への取組を推進。
- 災害時においても有効な保健システムを維持し、健康リスクを管理するための三国間の経験を共有。

4 次回の会合

- 次回の大臣会合は 2019 年に韓国において開催される。